

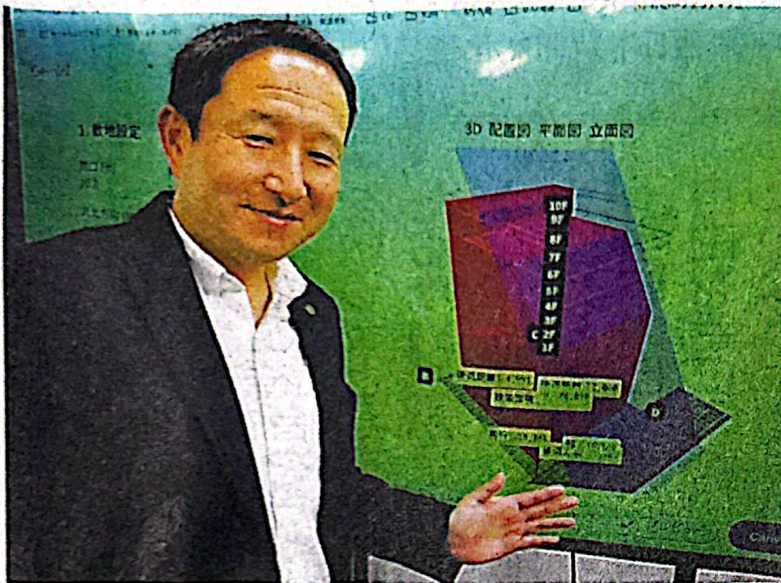
福岡市の老舗建設会社「山田工務店」が、住宅やビルの建築前に、建物の規模を簡易的に把握できる「建築ボリューム検討アプリ」を開発した。希望者に無償で提供しており、山田邦彦社長(51)は「建築を学ぶ学生や子どもたちに使ってもらいたい」と話している。

1級建築士の山田氏は同社の設計業務を1人で担い、業務効率化の必要性を実感してきた。アプリは人工知能(AI)を活用して作成。仕事終わりに夜な夜なGoogleの生成AI「Gemini(ジェミニ)」に繰り返し指示を出し、アプリを作り上げたという。マンションやビルなどを建

建築規模 アプリで把握

福岡の工務店開発、無償で提供

てる際、建物の高さや広さは用途地域区分や建ぺい率、容積率、接する道路幅など関連法の影響を受ける。そのため、建築士は初期段階で敷地内に最大でどれくらいの大きさの建物が建設できるか算出する



アプリを開発した山田工務店の山田邦彦社長

「ボリューム検討」を行う。アプリは、こうした情報を入力すると、自動で建設可能な最大の建物の大きさをビジュアルと数字で確認できる。山田氏は「専門的な知識がなくても視覚的に理解しやすく、遊び感覚で建築の基本の『キ』が学べる」と話す。

同社のホームページから利用申請すれば無償で使用できる。AIを使えば、自分がほしい機能をさらに追加することもできるという。

(井中恵仁)



「建築ボリューム検討アプリ」の利用申し込みQRコード